

さつませんだい女性活躍推進事業【薩摩川内市】

地域の実情と課題

平成28年度に実施した事業所アンケート結果によると、女性51.3%、男性11.9%が非正規雇用であり、事業主・役員における女性比率は23%、管理職における女性比率は17.6%となっている。

また、市民アンケート結果によると、「子育てと仕事を両立できる環境が整っている」と感じる市民の割合が伸び悩んでおり、女性の活躍推進のためには事業所への積極的な働きかけが必要である。

事業の特徴

- ① これから働こうとする女性や現在働いている女性を対象としたスキルアップセミナーや、経営者・人事労務担当者らを対象としたダイバーシティマネジメントセミナーを実施
- ② 市内事業所の取組状況やアンケート結果を市ホームページ等で公表・見える化
- ③ 女性の職業生活における活躍推進を官民一体となって推進するため、薩摩川内市女性活躍推進協議会を設置
- ④ 市政への参画機会が少ない子育て世代など様々な年代との対話をする「ひとみらいミーティング」を実施

事業の効果

女性スキルアップセミナー及びダイバーシティマネジメントセミナーの参加者の約9割から高い満足度の結果を得た。女性の管理職等へのチャレンジ意識向上や経営者らの意識改革につながるとともに、参加者間のネットワーク化を図ることができた。

また、市内の幅広い構成団体による協議会が設置されたことにより、市内全域に女性活躍を推進するための体制が整った。

目的・目標

本市における女性の職業生活における活躍推進を官民一体となって推進するため、市内関係団体による協議会を設置し、女性が活躍できる環境づくりを進める。

【数値目標】

仕事と子育てを両立できる環境が整っていると感じる市民の割合

49%(H28)⇒66%(H31) 実績 51%(H29)

女性の活躍推進に関する担当部署・担当者を定めるなど事業所内での推進体制を整備している事業所の割合

5%(H28)⇒10%(H29) 実績21.3%(H29)

連携団体

薩摩川内市女性活躍推進協議会

(構成団体)

- | | |
|-----------|-------------|
| ・行政機関 | ・民間企業関係団体 |
| ・農林水産関係団体 | ・金融機関 |
| ・教育機関 | ・コミュニティ団体 等 |

今後の課題

本市における女性活躍推進の取組は、まだ緒についたばかりであり、中小企業の多い本市においては、企業への積極的な働きかけが必要である。

そのためには、多くの女性が興味を持てるよう市内外で活躍しているロールモデルや、経営者や人事労務担当者らが興味を持てるよう中小企業でも積極的に取り組んで業績を伸ばしている成功事例の情報を継続して発信していく必要がある。

事業の概要

① ダイバーシティ・マネジメントセミナー【継続事業】

これから働こうとする女性や現在働いている女性を対象としたスキルアップセミナーを実施（3回開催／延べ約80名が参加）。

経営者・人事労務担当者らを対象としたダイバーシティマネジメントセミナーを実施（2回開催／延べ約130名が参加）。



③ 薩摩川内市女性活躍推進協議会の設置

本市における女性の職業生活における活躍推進を官民一体となって推進するため、平成29年8月に「薩摩川内市女性活躍推進協議会」を設置（委員26名）し、各構成員が連携・協力して女性活躍推進に効果的な施策を検討・協議・実施。



② 女性活躍推進の見える化【一部継続事業】

本市では、平成29年7月に市長をはじめ管理職ら120名がイクボス宣言を行うとともに、同年8月には官民一体となって女性の職業生活における活躍を推進するため薩摩川内市女性活躍推進協議会を設置し、同委員による「イクボス推進宣言」も行われた。

これらのことを受け、イクボスの輪を市内全域に広げていくため、企業・団体等の事業所からのイクボス宣言を随時募集するとともに女性活躍推進に積極的に取り組んでいる市内企業等を認定・表彰する「薩摩川内市女性活躍推進企業認定・表彰制度」を創設。

また、事業所の取組状況を把握するため、アンケート調査を引き続き実施。

これらの事業所の情報やアンケート結果を市ホームページ等で公表・見える化することで女性活躍推進の気運を醸成。



④ ひとみらいミーティング

市政への参画機会が少ない子育て世代など様々な年代との対話を実施し、男女の出会い・結婚・出産・育児・職場復帰など各ライフステージにおける支援及び環境整備を検討。

